

平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況



平成20年2月8日

上場会社名 日本山村硝子株式会社

コード番号 5210

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山村 幸治

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 水田 好彦

上場取引所 東証一部・大証一部

URL <http://www.yamamura.co.jp/>

TEL (0798) 32-2300

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	58,081	1.0	3,069	△6.3	3,008	△11.4	1,824	△4.1
19年3月期第3四半期	57,483	4.6	3,276	6.8	3,395	4.5	1,903	20.0
19年3月期	73,804	—	3,268	—	3,409	—	1,844	—

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第3四半期	16.42	—
19年3月期第3四半期	17.12	—
19年3月期	16.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第3四半期	89,802	55,555	61.8	499.61
19年3月期第3四半期	90,690	54,660	60.2	491.32
19年3月期	91,057	54,664	60.0	491.43

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第3四半期	5,262	△5,263	△868	7,051
19年3月期第3四半期	3,399	△3,831	△876	7,664
19年3月期	5,158	△5,281	△927	7,922

2. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	75,000	1.6	3,150	△3.6	2,900	△14.9	1,700	△7.9	15.30

業績予想につきましては、平成19年8月6日に発表いたしました業績予想と変更はありません。

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 - (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
 - (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
- [(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。]

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループでは当連結会計年度より「E v o l u t i o n—進化—」をスローガンとする新中期経営計画3カ年をスタートし、事業構造の変革に取り組んでおります。この計画で見込んでおり、ガラスびんの業界需要は当第3四半期におきましても低調に推移し、ガラスびん関連事業の売上高は355億7千3百万円（前年同期比3.1%減）に留まりました。生産効率の向上や固定費の削減に努力してまいりましたが、諸資材価格の高騰や、税制改正等による減価償却費負担の増加などにより、同セグメントの営業利益は13億5千4百万円（前年同期比19.7%減）と減少しました。

プラスチック容器関連事業では、当第3四半期に入り耐熱PETボトルの出荷が減速しましたが、その他のPETボトルやプラスチックキャップの出荷が順調に伸長し、売上高は111億3千8百万円（前年同期比8.1%増）となりました。また原油価格の高騰により原料費負担が増加する中でコスト削減に努めた結果、セグメント営業利益は7億7百万円（前年同期比17.7%増）となり、増収増益となりました。

物流関連事業では、新規顧客の開拓を積極的に進め、セグメント売上高は75億8千7百万円（前年同期比6.8%増）と増収となりました。しかし、営業所開設の初期投資、燃料の高騰、作業人件費の上昇等により、セグメント営業利益は4億1百万円（前年同期比14.5%減）となりました。

ニューガラス関連事業では、プラズマテレビ用やコンデンサ用の粉末ガラスのほか、新製品も順調に出荷を続け、売上高は22億8百万円（前年同期比28.3%増）、セグメント営業利益は5億8千7百万円（前年同期比29.2%増）と好調に推移しました。

エンジニアリング事業を主体とするその他事業では、売上高は15億7千3百万円（前年同期比5.0%減）、セグメント営業利益は1千9百万円（前年同期比70.4%減）となりました。

これらの結果、連結売上高は580億8千1百万円（前年同期比1.0%増）と増収となりましたが、連結営業利益は30億6千9百万円（前年同期比6.3%減）となり、連結経常利益は持分法による投資利益の減少も加わり30億8百万円（前年同期比11.4%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の流動資産は、主に現預金とたな卸資産の減少により前連結会計年度末に比べ4億6千万円減少しました。固定資産は、海外関連会社株式取得資金の一部前払い（投資その他の資産「その他」2,007百万円）がありましたが、減価償却の進行により有形固定資産が減少したため、7億9千5百万円減少しました。これらにより、総資産は前連結会計年度末に比べ12億5千5百万円減少し、898億2百万円となりました。

負債の部では、設備関係支払手形の減少により流動負債「その他」が減少し、負債合計は21億4千6百万円減少して342億4千6百万円となりました。

純資産合計は8億9千万円増加して555億5千5百万円となり、自己資本比率は61.8%となりました。

（キャッシュフローの状況）

当第3四半期末の現預金は、前連結会計年度末より8億7千万円減少して70億5千1百万円となりました。

営業活動によるキャッシュフローでは、売上債権の増加や法人税等の支払がありました。税金等調整前四半期純利益および減価償却費等により、52億6千2百万円の資金増（前年同期は33億9千9百万円の資金増）となりました。

投資活動によるキャッシュフローでは、有形固定資産の取得支出と海外関連会社株式取得資金の一部前払いにより、52億6千3百万円の資金流出（前年同期は38億3千1百万円の資金流出）となりました。

財務活動によるキャッシュフローでは、配当金の支払い等により8億6千8百万円の資金流出（前年同期は8億7千6百万円の資金流出）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年3月期の通期の業績予想につきましては、平成19年8月6日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

該当事項はありません。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

（有形固定資産の減価償却の方法の変更）

従来、定額法を採用していた当社の播磨工場および一部賃貸資産の建物及び構築物と機械装置及び運搬具（運搬具を除く）について、当期より定率法へと変更しております。これにより、従来の方法に比べ、営業利益は158百万円、経常利益および税金等調整前四半期純利益は166百万円、それぞれ減少しております。

（法令等の改正に伴う会計処理の方法の変更）

当期より、法人税法の改正に伴い、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これにより、従来の方法に比べ、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益は80百万円、それぞれ減少しております。

(4) 追加情報

当期より、法人税法の改正に伴い、平成19年3月31日以前に取得した有形固定資産について、帳簿価額が取得価額の5%に達した翌連結会計年度より、5年間で均等償却する方法を採用しております。これにより、従来の方法に比べ、営業利益は313百万円、経常利益および税金等調整前四半期純利益は320百万円、それぞれ減少しております。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

科目	前年同四半期末 (18.12.31)		当第3四半期末 (19.12.31)		(参考)前期末 (19.3.31)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(資産の部)						
I 流動資産						
現金及び預金	7,664		7,051		7,922	
受取手形及び売掛金	21,613		21,257		19,847	
たな卸資産	7,713		7,970		8,647	
前払費用	159		169		82	
繰延税金資産	335		330		520	
その他	396		469		691	
貸倒引当金	△15		△12		△14	
流動資産合計	37,865	41.8	37,236	41.5	37,697	41.4
II 固定資産						
有形固定資産						
建物及び構築物	11,742		11,597		12,125	
機械装置及び運搬具	13,170		11,983		13,915	
工具、器具及び備品	1,366		1,231		1,395	
土地	12,032		11,652		12,032	
建設仮勘定	836		908		532	
有形固定資産合計	39,149	43.2	37,373	41.6	40,001	43.9
無形固定資産	404	0.4	363	0.4	387	0.4
投資その他の資産						
投資有価証券	4,861		4,233		4,778	
非連結子会社及び関連 会社株式	4,499		4,732		4,535	
関連会社出資金	257		257		257	
長期貸付金	12		15		11	
長期前払費用	125		150		124	
繰延税金資産	2,688		2,656		2,501	
その他	954		2,912		904	
貸倒引当金	△128		△130		△142	
投資その他の資産合計	13,271	14.6	14,828	16.5	12,971	14.3
固定資産合計	52,824	58.2	52,565	58.5	53,360	58.6
資産合計	90,690	100.0	89,802	100.0	91,057	100.0

科目	前年同四半期末 (18. 12. 31)		当第 3 四半期末 (19. 12. 31)		(参考) 前期末 (19. 3. 31)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
(負債の部)						
I 流動負債						
支払手形及び買掛金	8,349		8,117		8,254	
短期借入金	3,160		7,370		6,002	
未払金	956		1,652		1,432	
未払法人税等	676		633		674	
未払消費税等	253		400		103	
未払費用	1,021		1,028		922	
賞与引当金	291		276		746	
役員賞与引当金	56		53		66	
その他	2,116		413		2,409	
流動負債合計	16,881	18.6	19,945	22.2	20,612	22.7
II 固定負債						
社債	1,000		1,000		1,000	
長期借入金	9,770		5,380		6,880	
退職給付引当金	4,431		3,986		4,280	
特別修繕引当金	3,355		3,547		3,056	
その他	591		386		563	
固定負債合計	19,148	21.1	14,300	15.9	15,780	17.3
負債合計	36,029	39.7	34,246	38.1	36,393	40.0
(純資産の部)						
I 株主資本						
資本金	14,074	15.5	14,074	15.7	14,074	15.5
資本剰余金	17,300	19.1	17,300	19.3	17,300	19.0
利益剰余金	22,624	25.0	23,667	26.4	22,565	24.8
自己株式	△70	△0.1	△86	△0.1	△75	△0.1
株主資本合計	53,929	59.5	54,957	61.3	53,865	59.2
II 評価・換算差額等						
その他有価証券評価差額金	1,315	1.5	906	1.0	1,263	1.4
繰延ヘッジ損益	△1	△0.0	1	0.0	1	0.0
為替換算調整勘定	△625	△0.7	△351	△0.4	△508	△0.6
評価・換算差額等合計	688	0.8	556	0.6	756	0.8
III 少数株主持分	42	0.0	41	0.0	42	0.0
純資産合計	54,660	60.3	55,555	61.9	54,664	60.0
負債純資産合計	90,690	100.0	89,802	100.0	91,057	100.0

(2) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (18. 4. 1~18. 12. 31)		当第3四半期 (19. 4. 1~19. 12. 31)		(参考) 前期 (18. 4. 1~19. 3. 31)	
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)
I 売上高	57,483	100.0	58,081	100.0	73,804	100.0
II 売上原価	45,531	79.2	46,341	79.8	59,120	80.1
売上総利益	11,952	20.8	11,739	20.2	14,683	19.9
III 販売費及び一般管理費	8,676	15.1	8,670	14.9	11,415	15.5
営業利益	3,276	5.7	3,069	5.3	3,268	4.4
IV 営業外収益	541	0.9	388	0.7	702	1.0
受取利息	1		8		4	
受取配当金	49		77		60	
持分法による投資利益	194		20		183	
その他	296		281		453	
V 営業外費用	421	0.7	449	0.8	561	0.8
支払利息	164		176		221	
その他	257		273		339	
経常利益	3,395	5.9	3,008	5.2	3,409	4.6
VI 特別利益	50	0.1	209	0.3	152	0.2
固定資産売却益	3		49		3	
投資有価証券売却益	46		12		49	
貸倒引当金戻入益	—		21		2	
補助金収入	—		123		—	
保険差益	—		—		97	
役員賞与引当金戻入益	—		2		—	
VII 特別損失	249	0.4	59	0.1	404	0.5
固定資産廃棄損	249		59		404	
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	3,196	5.6	3,158	5.4	3,157	4.3
法人税、住民税及び事業税	875	1.5	1,112	1.9	876	1.2
法人税等調整額	415	0.8	218	0.4	435	0.6
少数株主利益	2	0.0	2	0.0	0	0.0
四半期 (当期) 純利益	1,903	3.3	1,824	3.1	1,844	2.5

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (18. 4. 1～18. 12. 31)	当第3四半期 (19. 4. 1～19. 12. 31)	(参考) 前期 (18. 4. 1～19. 3. 31)
区分	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	3,196	3,158	3,157
減価償却費	3,321	3,950	4,588
持分法による投資利益	△194	△20	△183
貸倒引当金の増加額 (△は減少額)	3	△13	15
特別修繕引当金の増加額 (△は減少額)	88	490	△211
退職給付引当金の減少額	△305	△293	△456
役員退職引当金の減少額	△191	—	△191
賞与引当金の減少額	△478	△470	△22
役員賞与引当金の増加額 (△は減少額)	56	△12	66
有形固定資産廃棄損	268	102	421
有形固定資産売却益	△3	△49	△3
無形固定資産廃棄損	1	—	1
投資有価証券売却益	△46	△12	△49
受取利息及び受取配当金	△50	△86	△65
支払利息	164	176	221
売上債権の増加額	△3,328	△1,440	△1,508
たな卸資産の減少額	1,388	676	454
仕入債務の減少額	△494	△142	△483
役員賞与の支払額	△64	—	△64
その他	338	438	△227
小計	3,671	6,451	5,462
利息及び配当金の受取額	47	87	138
利息の支払額	△124	△142	△224
法人税等の支払額	△194	△1,133	△218
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,399	5,262	5,158
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△3,277	△3,530	△5,097
有形固定資産の売却による収入	219	396	569
無形固定資産の取得による支出	△117	△66	△129
投資有価証券の取得による支出	△666	△68	△669
投資有価証券の売却による収入	67	15	70
投資有価証券の償還による収入	13	—	13
その他投資他の増加による支出	△188	△2,076	△229
その他投資他の回収による収入	117	67	190
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,831	△5,263	△5,281
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増加額	660	600	1,410
長期借入による収入	600	—	600
長期借入金の返済による支出	△1,401	△732	△2,199
自己株式の増減による収支	△8	△10	△13
配当金の支払額	△725	△725	△723
少数株主への配当金の支払額	△1	△0	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△876	△868	△927
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△1	—
V 現金及び現金同等物の減少額	△1,308	△870	△1,050
VI 現金及び現金同等物の期首残高	8,973	7,922	8,973
VII 現金及び現金同等物の四半期末 (期末) 残高	7,664	7,051	7,922

(4) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前年同四半期 (18. 4. 1～18. 12. 31)

(単位：百万円)

	ガラスびん関連事業	プラスチック容器関連事業	物流関連事業	ニューガラス関連事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高								
① 外部顧客に対する売上高	36,698	10,299	7,107	1,721	1,656	57,483	—	57,483
② セグメント間の内部売上高又は振替高	—	0	77	—	8	86	(86)	—
計	36,698	10,299	7,185	1,721	1,664	57,570	(86)	57,483
営業費用	35,012	9,698	6,715	1,267	1,599	54,293	(86)	54,207
営業利益	1,686	601	469	454	64	3,276	—	3,276

当第3四半期 (19. 4. 1～19. 12. 31)

	ガラスびん関連事業	プラスチック容器関連事業	物流関連事業	ニューガラス関連事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高								
① 外部顧客に対する売上高	35,573	11,138	7,587	2,208	1,573	58,081	—	58,081
② セグメント間の内部売上高又は振替高	—	0	81	—	1	83	(83)	—
計	35,573	11,138	7,669	2,208	1,575	58,165	(83)	58,081
営業費用	34,218	10,431	7,267	1,621	1,556	55,095	(83)	55,012
営業利益	1,354	707	401	587	19	3,069	—	3,069

(参考) 前期 (18. 4. 1～19. 3. 31)

	ガラスびん関連事業	プラスチック容器関連事業	物流関連事業	ニューガラス関連事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高								
① 外部顧客に対する売上高	46,967	13,328	9,330	2,315	1,862	73,804	—	73,804
② セグメント間の内部売上高又は振替高	—	0	105	—	10	115	(115)	—
計	46,967	13,328	9,435	2,315	1,872	73,920	(115)	73,804
営業費用	45,532	12,658	8,880	1,800	1,780	70,651	(115)	70,536
営業利益	1,435	670	554	514	92	3,268	—	3,268

(注) 事業区分の方法：製品、サービスの種類・性質の類似性に基づいて区分しております。

[所在地別セグメント情報]

前年同四半期 (18. 4. 1～18. 12. 31)

当社は本邦以外の国または地域に所在する連結子会社がないため、該当事項はありません。

当第3四半期 (19. 4. 1～19. 12. 31)

当社は本邦以外の国または地域に所在する連結子会社がないため、該当事項はありません。

(参考) 前期 (18. 4. 1～19. 3. 31)

当社は本邦以外の国または地域に所在する連結子会社がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前年同四半期 (18. 4. 1～18. 12. 31)

海外売上高は連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

当第3四半期 (19. 4. 1～19. 12. 31)

海外売上高は連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(参考) 前期 (18. 4. 1～19. 3. 31)

海外売上高は連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。